



60周年の節目を祝うとともに、さらなる発展を誓い合った記念式典

町勢のさらなる発展を

平泉町合併60周年記念式典・講演会

平泉町は1955年4月15日、旧平泉町と長島村が合併して誕生し、2015年で満60年の記念すべき年を迎えました。

その節目を祝う「平泉町合併60周年記念式典」が9月23日、町民や県内外からの来賓など約450人が出席し、平泉小学校体育館で開かれました。

式典は、平泉中学校吹奏楽部の演奏で開幕。青木町長が「地域力をいかに向上させるかを当面の目標とし町民と共に努力したい。次の10年を見据えたときに重要なものは、『平泉の文化遺産』の平和思想、浄土思想を国内外に伝えていくことである。景観、史跡、そして平和思想、浄土思想と共存しながら、町の自立を目指して、世界遺産のまちにふさわしい町づくりを進めていく。この意義ある式典を契機に、先人の残した歴史的な文化遺産を後世に引き継ぎながら、産業と文化が調和し、町民が豊かで潤いと安らぎを享受できる郷土をつくるため、今後一層の努力を重ねていきたい」と式辞を述べました。

また佐藤町議会議長が「合併60周年の意義は、過去の歩みを顧みるだけでなく、来るべき次の世代にどう生かしてゆくかにある。真に住みやすい町を作っていくことが我々に課せられた使命だ」とあいさつしました。

続いて本年度の町勢功労者として地方自治の発展に尽力した前町議会議員の小松代智さん、石川章さん、高橋幸喜さんの3人を表彰。町観光大使として、町のPRなどに貢献した西村専次さん(公社役員)、菅原哲朗さん(元公社役員)、高橋富雄さん(富岡八幡宮神輿総代連合会顧問)、武田双雲さん(書道家)、星吉紀さん(音楽家)、大沢桃子さん(歌手)、金澤未咲さん(歌手)の7人に感謝状、肖像画の全国公募展で優秀な成績を収めた佐藤輝輝さんに特別表彰が贈られ、出席者から大きな拍手が送られました。式典の最後には、泉響會が「慶祝木遣り」を披露。60周年を祝う

とともに、新たな前進を誓い合いました。式典後、長島小学校合奏団による演奏で第2部の記念講演会が開幕。シンセサイザーユニット「女神」の星吉紀さんが「平泉への思い」と題して記念講演を行いました。講演終了後には、星さんが作曲した「平泉讃歌」を平泉小学校5・6年生が合唱し、記念講演に花を添えました。



講演会の講師を務めた星さん



「平泉讃歌」を合唱する平泉小5・6年生



感謝状を受け取る町観光大使の高橋富雄さん



記念誌を発行

これまでの平泉の歩みを振り返りながら、平泉の今を創り守っている人々が対話し力を合わせ、ときに競い、未来へ向けて「まちづくり」という協奏曲をともに奏でるため、町合併60周年記念誌「平泉協奏曲」を発行しました。

記念誌は「広報ひらいずみ」9月号とともに、全世帯に配布されました。なお希望者には記念誌を差し上げますので、まちづくり推進課までお越しください。

栄えある町勢功労に3人

平成28年度町勢功労者表彰式が9月23日、町合併60周年記念式典の席で行われました。本年度の受賞者は、小松代智さん(13区)、石川章さん(19区)、高橋幸喜さん(11区)の3人。小松代さん、高橋さんは町議会議員として、石川さんは町議会議員ならびに農業委員として地方自治の振興発展に寄与され、地方自治功労を受賞されました。



地方自治功労
小松代智さんは、平成12年4月町議会議員に当選以来、議行財政調査特別委員会委員長、議会広報編集特別委員会委員長、監査委員を歴任し、4期16年の永きにわたり地方自治の振興発展に寄与されました。



小松代智さん (76歳・13区)

地方自治功労
高橋幸喜さんは、平成16年4月町議会議員に当選以来、総務教民常任委員会副委員長、議会改革調査特別委員会副委員長、議会運営委員会委員長を歴任し、3期12年の永きにわたり、地方自治の振興発展に寄与されました。



高橋幸喜さん (69歳・11区)

地方自治功労
石川章さんは、平成16年4月町議会議員に当選以来、3期12年にわたり、また昭和62年から18年間、農業委員として、そのうち平成11年7月から16年5月まで農業委員会会長として、永きにわたり、地方自治の振興発展、農業振興発展に寄与されました。



石川章さん (75歳・19区)

次の世代への継承を誓う

「平泉の文化遺産」世界遺産登録5周年記念式典

平泉の文化遺産が世界遺産に登録されて5年を迎えたのを記念して、9月22日、平泉観光レストセンターで式典が開かれました。

式典には世界遺産登録に携わった関係者ら約200人が出席して節目を祝い、平泉が持つ資産の価値や拡張登録の重要性などを再認識し、次の世代への継承を誓いました。

青木町長は「5周年を契機に平泉の文化遺産に込められた平和への理念を世界に広く発信し、拡張登録に向けてさらに力を入れて動いていきたい」とあいさつ。式典には達増拓也県知事も出席し、「平泉の世界遺産登録は復興をけん引する力となった。貴重な平泉の文化遺産を、その理念と共に未来に残していかなければならない」と語りました。

また世界遺産推進功労者として平泉の文化遺産の普及啓発活動に貢献した3団体、4人を表彰しました。



世界遺産推進功労者の皆さん(写真前列)